データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
024	02146	支払額	葬祭費情報			S9	15			任意	支払い金額を設定		◎
024	02147	増減調整額	葬祭費情報			S9	15			任意	支払い金額の調整額がある場合は設定		◎
024	02148	申請者_宛名番号	葬祭費情報			X	15			任意	自治体内において、個人を一意に識別する番号 申請者の宛名番号を設定		◎
024	02149	受付区コード	葬祭費情報			X	6			任意	指定都市の場合は、各種申請の届け出を受け付けた行政区（受付区）を設定	・行政区管理を行っている指定都市の場合は、出力すること ・指定都市以外は標準オプション機能	◎
024	05630	削除フラグ	葬祭費情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを表すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
024	02150	操作者ID	葬祭費情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
024	02151	操作年月日	葬祭費情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
024	02152	操作時刻	葬祭費情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
024	02153	市区町村コード	不当利得情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
024	02154	国保記号番号	不当利得情報	○	○	X	12			必須	国保記号番号を設定		◎
024	02155	不当通知番号	不当利得情報	○		X	10			必須	不当利得の通知書番号を設定		◎
024	02156	不当賦課年度	不当利得情報	○		YEAR	4			必須	不当利得の賦課年度を設定 ①調定処理月が5月（不当決定年度切替月）以前の場合、「不当決定年度＝調定処理年－1」を設定 ②調定処理月が6月（不当決定年度切替月）以降の場合、「不当決定年度＝調定処理年」を設定 ③調定処理月が3月（調定年度切替月）以前の場合、「調定年度＝調定処理年－1」を設定 ④調定処理月が4月（調定年度切替月）以降の場合、「調定年度＝調定処理年」を設定 【不当賦課年度の設定】 ①不当相当年度＝調定年度の場合、調定年度を設定 ②不当相当年度＝不当決定年度の場合、不当決定年度を設定 ③上記以外は調定年度を設定		◎
024	02157	不当相当年度	不当利得情報	○		YEAR	4			必須	不当利得の相当年度を設定	・診療年月が3月（年度切替月）より前は、「診療年－1」、診療年月が3月（年度切替月）以降は、「診療年」を設定 ただし、運用月が 4月（調定年度切替月）より前は、「調定年度＝調定処理年－1」を設定 ・運用月が4月（調定年度切替月）以降の場合、「調定年度＝調定処理年」とし、上記で編集した不当相当年度 が調定年度より大きい場合は、調定年度を不当相当年度に設定	◎
024	02158	返還科目	不当利得情報	○		X	2	043		必須	不当利得の返還先会計科目を設定		◎
024	02176	給付番号	不当利得情報	○	○	X	20			必須	レセプトの給付番号を設定	・不当区分がレセプトの場合は、出力すること ・不当区分がレセプト以外の場合は、初期値（00000000000000000000）を設定	◎
024	05631	最新フラグ	不当利得情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
024	02159	不当通知発付日	不当利得情報			DATE	10			任意	不当利得の通知書の発付日を設定		◎
024	02160	不当通知納期限	不当利得情報			DATE	10			任意	不当利得の通知書の納期限（不当通知発付日の20日後の開庁日）を設定		◎
024	02161	不当督促発付日	不当利得情報			DATE	10			任意	不当利得の督促状の発付日を設定		◎
024	02162	不当督促納期限	不当利得情報			DATE	10			条件付き必須	不当利得の督促状の納期限（不当督促発付日の20日後の開庁日）を設定	※※02402161がnullでない場合	◎